

新 知 故 温

vol. 11

【発行】
2015年(平成27年)
7月28日

岩崎友一県議会だより



7月8日 県議会6月定例会 (総務委員長として登壇)

ご挨拶

7月8日、任期中最後となる県議会6月定例会が閉会となりました。

この4年を振り返ると、常任委員会では前半の2年が農林水産副委員長として、後半の2年間は総務委員長として東日本大震災津波からの復旧・復興に全力で取り組んできました。

特に総務委員会は復興局を管轄することから、後半の2年間は委員長として多くの現地視察を取り入れながら、時々刻々と変わる被災地の状況や課題を委員全員で共有し、委員会での質疑等を通して復旧・復興に一定の役割を果たせたのではないかと思います。

総務委員会は復興局の他にも総務部、政策地域部、秘書広報室、県警など多くの部局を管轄することから、

多岐にわたる議案が委員会に付託され、委員長として運営の難しさを感じることも多々ありましたが、貴重な経験を積ませていただきました。

岩手県の抱える課題は数多くあります。東日本大震災津波からの復興は最優先課題ではありますが、将来を見据えた産業政策や子ども子育て政策、また、全国的にも報道されているいじめによる自殺を二度と起こさせないための取り組みも非常に重要です。

一人ひとりが伸び伸びと生きがいをもって暮らしていくことのできる様、引き続き頑張っていきたいと思っております。

平成27年7月28日
岩手県議会議員 岩崎友一

岩崎友一事務所

釜石事務所

〒026-0025 岩手県釜石市大渡町2-6-23 TRYビル2階
TEL: 0193-55-6830 FAX: 0193-55-6831

大槌事務所

〒028-1131 岩手県上閉伊郡大槌町大槌24-23-1 (大槌タクシー内)
TEL: 0193-42-2257 FAX: 0193-42-2258

岩崎友一公式HP <http://iwasakitomokazu.com>

岩手県議会HP <http://www2.pref.iwate.jp/~hp0731/>

活動報告の一部

総務委員会の調査で仙台市・石巻市・女川町を視察

5月20日、総務委員会の調査で仙台市・石巻市・女川町を視察しました。

20日は仙台市にて今年3月に開催された国連防災世界会議の開催に向けた取り組みと課題について担当者の方々からご説明をいただいた後、意見交換をさせていただきました。

また、21日には石巻市にて水産業復興特区を活用した取り組みについて、女川町にて復旧・復興への取り組みやまちづくり事業について現地視察も含めた調査をしたところです。

岩手県、宮城県では東日本大震災津波からの復興という大きな目標がありますから、これま

でもそしてこれからも国への要望活動など歩調を合わせた活動が不可欠であります。

そういった意味からも今回の視察で情報や課題の共有ができたことは大きな収穫だと思えます。



女川町にて

橋野鉄鉱山 世界文化遺産へ

7月5日、釜石市の橋野鉄鉱山を含む明治日本の産業革命遺産が世界文化遺産に登録されることが決定をいたしました。

今年5月に世界文化遺産の候補を事前審査する諮問機関であるイコモスが、明治の産業革命遺産として登録を目指す釜石市の橋野鉄鉱山を含む日本国内23の構成資産全てを、世界文化遺産として登録するようユネスコに勧告をしてからこの間、待ち望んでいた登録決定を受けて、とても嬉しく思います。

これから観光客が増えることが期待されますが、橋野鉄鉱山までの道路整備やリピーターの確保など、ハード面・ソフト面両面において、まだまだ解決すべき課題も多いことから、世界

文化遺産への登録を最大限生かせるよう、しっかりと取り組んでいきたいと思えます。



3番高炉石組み



御日払所



4月14日

総務委員会の視察で県警察学校を視察



4月26日

県政報告会を開催



5月19日

大槌商工会総会に出席



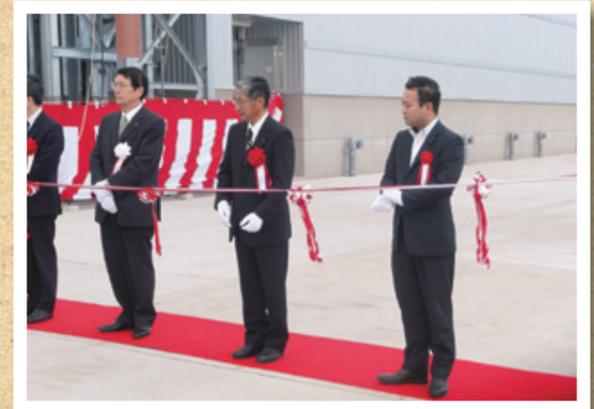
6月8日

片岸・室浜トンネル工事安全祈願祭に出席



6月16日

鶴住居第2トンネル・小鉈第1トンネル貫通式に出席



6月22日

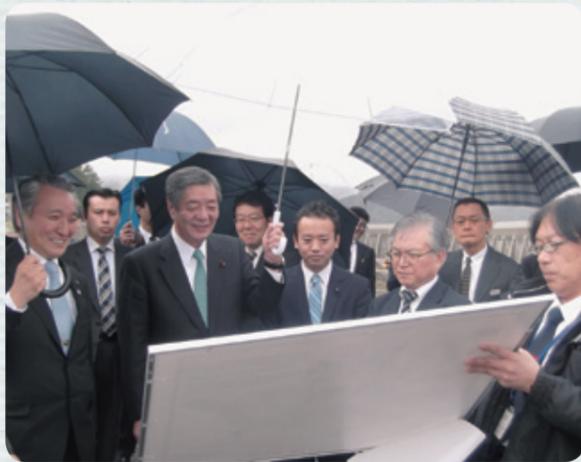
大槌町製氷貯氷施設竣工式に出席

竹下復興大臣・小泉復興大臣政務官と釜石市・大槌町を視察

4月11日、竹下復興大臣が釜石入りし、上中島Ⅱ期復興公営住宅と根浜地区の高台移転先を視察いたしました。

4月19日は小泉進次郎復興大臣政務官が大槌入りし、浪板・赤浜・安渡地区の防災集団移転促進事業や土地区画整理事業の進捗状況等について視察をいたしました。

用地の取得も進み、今年、来年は復興工事が目に見える形で大きく進む年となります。一方、復興の進捗とともに新たな課題も生じてきておりますから、現地視察を通して、課題をしっかりと把握し、解決に向けた取り組みを進めていきたいと思っております。



竹下復興大臣と釜石市根浜地区を視察



小泉政務官と大槌町浪板地区を視察

復興庁・自民党復興加速化本部へ要望

5月11日から13日に行った各市町村の要望を受けて、6月11日、復興庁と自民党東日本大震災復興加速化本部へ要望へ行ってきました。

復興庁では竹下復興大臣、自民党東日本大震災復興加速化本部では額賀福志郎本部長へそれぞれ要望をおこなったところであります。

結果として、来年度以降の復興予算について全国共通の課題への対応との性質を併せ持つ事業（復興事業の一部）においては地方負担が導入されますが、地方負担が生じることにより復興が減速することのないよう土地区画整理事業や高台移

転などの基幹事業、心のケアやコミュニティー再建にかかるソフト事業、三陸縦貫自動車道、任期付き職員、応援職員の経費等、復興との関連性の高い事業については全額国費にて行うこととなりました。

現在、仮設団地を回るコミュニティーバス運行事業や生活相談支援員事業等について、来年度以降も実施する方向で調整が進められております。

復興の過程において、必要な予算・事業はしっかりと継続・延長される様、引き続き国への要望を行っていききたいと思います。



復興庁にて



東日本大震災復興加速化本部にて

県内の被災全市町村を視察

岩手県議会自民党会派では発災以降、東日本大震災津波からの復旧・復興を岩手県の最優先課題と位置付け、被災市町村からの課題聴取や現地視察、政府への要望等を行ってまいりました。

発災から4年が経過をし、復興の進捗とともに新たな課題が出てきたり、課題が細分化されてきていること、また、来年度以降の復興予算について多くの市町村が不安等を抱えていることから、月命日にあたる5月11日から13日までの3日間、陸前高田市から洋野町までの沿岸全市町村を訪問し、市町

村との意見交換や現地視察を行いました。

復興がまだまだ道半ばにあって全市町村からいただいた要望の第一は来年度以降の復興予算の継続と各種支援制度の延長であり、私も勿論、共有している一番の課題であります。

また、罹災証明書の相続権の問題や応急仮設住宅撤去後の応援職員の方々の宿舎確保の問題等について意見交換、課題の共有をさせていただいたところでもあります。

これから更に、市町村毎や地域毎に新たな課題が生じてくるものと思います。時々刻々と変わる課題を的確に把握し、課題の早急な解決に努めていきたいと思っております。



大船渡市にて



洋野町にて



宮古市にて

岩崎友一のプロフィール



岩崎 友一

(いわさき・ともかず 36才)

誕生日 昭和53年9月18日

身長 165cm

体重 60kg

血液型 B型

自己紹介

- 趣味 野球、ゴルフ、DVD、音楽鑑賞、温泉旅行
- 座右の銘 「温故知新」
- 好きな食べもの 納豆、麻婆豆腐(辛口)、秋刀魚の塩焼き
- 長所 何事にも前向きなところ
- 短所 たまに突っ走りすぎる

経歴

平成元年 大槌町立安渡小学校 卒業
 平成4年 大槌町立大槌中学校 卒業
 平成7年 盛岡中央高等学校 卒業
 平成13年 城西大学 経済学部 経営学科 卒業
 平成14年 鈴木栄子司法書士事務所 勤務
 平成18年 (株)ガルバート・ジャパン 勤務
 平成22年 岩手県議会議員補欠選挙で初当選
 平成23年 岩手県議会議員選挙で2期目当選(現在に至る)

県議会の役職

総務委員会 委員長
 議員運営委員会 委員
 スポーツ振興等調査特別委員会 委員
 東日本大震災津波復興特別委員会 委員
 議会改革推進会議 副座長

公式ホームページ

岩崎友一 公式ホームページ

ブログ更新中

<http://iwasakitomokazu.com>

復興懇話会を開催中



東日本大震災津波発災から4年4ヶ月が経過し、時間の経過とともに、被災地の課題もより細分化、個別化してきております。

そういったことから今年は仮設団地の集会所・談話室での復興懇話会を例年より多く開催しております。

懇話会では復興の進捗状況などについて意見交換・情報交換をさせていただいておりますが、喫緊の課題として今年12月までとなっている国民健康保険等の一部負担金免除の継続の声を多くいただいております。

私も継続の必要性を強く感じておりますから、来年一月以降も継続されるよう、要望活動等を行っていきたく思います。

編集後記



5月7日、我が家に第2子が誕生しました。お父さん似(?)の女の子です。

今回は初めて出産に立ち会いました。分娩室に入ってから生まれてくるまではドキドキ・ハラハラでしたが、無事にとりあげて下さった助産師さん、お世話いただいた看護師さんに感謝です。

そして出産という神秘的の瞬間に立ち会えたことがとても嬉しいです。

そんな娘も間もなく3ヶ月。応急仮設住宅の暑さにも負けず、元気に育っています。親は汗疹を出さないために必死です。

ベビーベットを置いたら、更に狭くなった我が仮設住宅ですが、それ以上に家族の笑顔が増えた我が家です。

(岩崎友一)